

教育研修講演のお知らせ

日本整形外科学会教育研修単位

次頁の講演は、日本整形外科学会教育研修単位が認められております（各1単位）。
※ただし、1日あたり最大4単位、学会会期中最大6単位までです。

申込方法

1. 教育研修講演受付にて本誌巻頭綴じ込みの「日整会認定教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入の上、日整会 IC 会員カードと受講料（1セッション：1,000円）を添えてお申し込みください。
※受講証明が必要でない方は無料で受講できますが、受講料をお支払いの方の入場を優先します。
※日整会 IC 会員カードをお忘れの方は、仮 IC カード発行デスクにて仮 IC カードを発行してください。
2. 講演開始 10 分前から、開始後 10 分までに IC 会員カードまたは仮 IC カードを講演会場入口のカードリーダーにかざして出席登録を行ってください。10 分を過ぎた場合、手続きが完了していない場合、途中退場された場合は、単位取得はできません。
3. 学会終了から 1 週間程度で、日整会ホームページの取得単位確認画面の単位振替システムでご自身の取得状況を確認できます。
4. **研修手帳をお持ちの方も**、IC 会員カードで出席確認を行うため、日整会ホームページの会員専用ページの単位取得履歴に記録が残ります。このため、受講証明印を受ける必要はありません。該当する必須分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員カード」または「HP 参照」と記入してください。更新時には、ホームページ上の取得履歴と照合いたします。

ご注意

1. 会場には講演開始後 10 分までに入場してください。10 分後に入場されましても受講単位は認められません。また、途中退場される場合も受講単位は認められません。
2. 受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。また受講取り消し・変更の手続きや領収書の再発行はいたしません。
3. 教育研修講演のみを受講される方も、学会参加登録が必要です。
4. 2015 年（平成 27 年）1 月 1 日より、日本整形外科学会教育研修講演における単位取得が完全デジタル化されております。教育研修講演の単位取得にあたっては、IC 会員カードが必要になりますので、必ずご持参ください。カードがお手元にはない方は日本整形外科学会事務局（03-3816-3671）までお問い合わせください。
5. 本会は現金決済のみとなります。クレジット機能はご使用いただけませんので、ご了承ください。
6. 単位の必須分野番号を、受講当日に選択することはできません。後日、日本整形外科学会会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振り替えをお願いします。

日整会教育研修単位一覧

第 48 回日本人工関節学会

招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	認定 単位	必須 分野	日整会 認定番号 17-2922	
1	Creation of a Center of Excellence 30 Years of Clinical Experience With the Dynamic Model of THA	Richard H. Rothman	p.236	2	23 日	8:10 ~ 9:10	N	14.5	001
2	Patient specific surgery: fact or fiction?	Joseph F. Fetto	p.237						
3	Major problems and solutions of TKA in North America	Jeremy M. Latham	p.238						
	Complex cases in TKA in Asia: major problems and solution	Michael J. Dunbar	p.239						
		Aree Tanavalee	p.240			10:20 ~ 11:20	N	1. 12	003

教育研修講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	認定 単位	必須 分野	日整会 認定番号 17-2922	
1	苦い経験から知る THA 苦い経験から知る TKA	飯田 寛和	p.241	1	23 日	13:50 ~ 14:50	N	11. 12	014
		星野 明徳	p.241						
2	Hip biomechanics revisited - A more complete model and its consequences Short Stem 一若年股関節疾患治療の選択肢一	Joseph F. Fetto	p.242	2	24 日	8:20 ~ 9:20	N	1. 12	022
3	TKA の適切な手術手技：理論的根拠 TKA の内側安定性を重視した手術手技	渥美 敬	p.242						
4	外反変形膝に対する人工膝関節置換術の手術手技とその臨床成績	松田 秀一	p.243	2	24 日	9:25 ~ 10:25	N	12	023
5	骨欠損に対する TKA UKA の実際～ Navigation は UKA に必要なのか？～	岡崎 賢	p.243						
6	Navigation を用いた人工膝関節置換術の実践	中村 卓司	p.244	2	24 日	10:30 ~ 11:30	N	12	024
7	日本人工関節登録制度データから見る医療安全 人工関節周術期の医療安全	王寺 享弘	p.244						
8	人工関節の医療安全：感染予防対策のガイドライン	乾 洋	p.245	2	24 日	14:00 ~ 15:00	N	14.1	035
9	整形外科領域における臨床や研究と倫理	秋山 治彦	p.246						
10	骨盤傾斜症例に対する初期 THA ～側方傾斜に対する strategy～	眞島 任史	p.246	2	24 日	15:05 ~ 16:05	N	14.2	036
11	骨盤傾斜症例での THA →ナビゲーション非使用の立場から～	阿部 哲士	p.247						
12	骨盤傾斜症例での THA →ナビゲーション非使用の立場から～	桑原 博道	p.247	3	24 日	16:10 ~ 17:10	N	14.3	037
13	骨盤傾斜症例での THA →ナビゲーション非使用の立場から～	加畑 多文	p.248						
14	骨盤傾斜症例での THA →ナビゲーション非使用の立場から～	井上 正弘	p.248	3	24 日	10:30 ~ 11:30	N	11	025

ランチオンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	認定 単位	必須 分野	日整会 認定番号 17-2922	
1	変形性膝関節症と人工膝関節置換術後遷延痛に対するデュロキセチンの有効性	菊地 忠志	p.249	1	23 日	11:35 ~ 12:40	N	12. 13	007
2	Bi-Cruciate Retaining Total Knee Arthroplasty -A New World- 新しい Modern Bi-Cruciate Retaining TKA とその短期臨床成績	Alfred J. Tria Jr.	p.249						
3	Direct Superior Approach: A Less Invasive Approach for Posterior Hip Surgeries 本邦の股関節疾患における DSA (Direct Superior Approach)	西池 修	p.250	2	24 日	11:35 ~ 12:40	N	1. 12	004
4	下股人工関節置換術における遷延性術後痛	Douglas J. Roger	p.250						
5	早期荷重、早期離床を旨とした最適な機種選択と手術手技	青田 忠郎	p.251	3	24 日	11:35 ~ 12:40	N, Re	12. 13	010
6	TKA・THA の軟部組織処置と創閉鎖 ～より高い術後早期の患者満足度も目指して～	池内 昌彦	p.251						
7	TKA における SSI 対策：～感染を起こさないために考えていること～	前田 昭彦	p.252	4	24 日	11:35 ~ 12:40	N	2. 11	009
8	TKA における SSI 対策：～感染を起こさないために考えていること～	桑沢 綾乃	p.252						
9	Respecting Knee Kinematics with the Physica system	木村 正一	p.253	6	24 日	11:35 ~ 12:40	N	11. 12	006
10	ショートシステムを使いこなすための Tips & Pitfalls	Luca Marega	p.253						
11	Patient Warming's Role in the Prevention of Orthopedic Infections	中田 活也	p.254	8	24 日	11:35 ~ 12:40	N	1. 11	011
12	人工関節周囲感染の診断と治療に関する最新のトピックス THA・TKA の出血対策 ～滴下式バイポーラシステムの使用経験を含めて～	Scott Augustine	p.254						
13	人工股関節手術における安全かつ効率的な創閉鎖を目指して～ Barbed Suture の使用経験から～	稲葉 裕	p.255	1	24 日	11:45 ~ 12:50	N	6. 11	026
14	人工股関節手術で「自然な膝、痛くない膝」を獲得するための取り組み	仁平高太郎	p.255						
15	人工股関節手術における安全かつ効率的な創閉鎖を目指して～ Barbed Suture の使用経験から～	櫻井 達郎	p.256	2	24 日	11:45 ~ 12:50	N	12	030
16	Experience in TKA using a Single Radius Design	Kirby D. Hitt	p.256						
17	股関節機能再建における治療戦略とシステム選択	松原 正明	p.257	4	24 日	11:45 ~ 12:50	N	11	031
18	人工膝関節手術で「自然な膝、痛くない膝」を獲得するための取り組み	乾 洋	p.257						
19	人工膝関節手術で「自然な膝、痛くない膝」を獲得するための取り組み	乾 洋	p.257	5	24 日	11:45 ~ 12:50	N	12	032

15	術後痛管理におけるアセトアミノフェンの立ち位置を再考する	新山 幸俊	p.258	6	24日	11:45～12:50	N, Re	11, 13	027
	人工股関節全置換術後の疼痛管理	園畑 素樹	p.258						
16	Grammont 型 RSA から新しいコンセプトの RSA の登場—外側化 RSA の現状と展望—	山門浩太郎	p.259	7			N	1, 9	028
	Grammont 型 RSA から新しいコンセプトの RSA の登場—Onlay 型の現状と展望—	池上 博泰	p.259						
17	New Adventure in TKA with Mobile Bearing System	Tae Kyun Kim	p.260	8	N	12	033		
18	モジュラー型ツバイミューラシステムと牽引手術台を用いた仰臥位前方アプローチによる人工股関節全置換—一次世代への展望—	中村 順一	p.260	9	N	11	034		

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	認定単位	必須分野	日整会認定番号 17-2922
1	生体内動態解析から考える正常膝関節と Bicruciate Preserving Arthroplasty	富田 哲也	p.261	1	23日 15:00～16:05	N, Re	12, 13	020
2	Tapered-wedge femoral stem design for Anterior Minimally Invasive Surgery	Jose A. Rodriguez	p.261	3		N	11	015
	AMIS Approach- Leg positioner を使用した低侵襲組織間温存前方進入法による人工股関節置換術	西脇 徹	p.262					
3	運動器慢性痛の治療：up-to-date	牛田 享宏	p.262	4		N	1, 8	021
4	人工関節置換術後の綺麗な創管理と手術成績向上を目指して	杉本 和隆	p.263	6		N	11, 12	018
5	THA 術後脱臼ゼロに向けての取り組みと Modular neck (HYDRA) スタムの位置づけ	今井 浩	p.263	7		N	11	019
6	人工股関節置換術における三次元的思考—術前計画から術後評価まで—	小山 博史	p.264	8		N	11	016
	3D モデル・3D プリンターの股関節手術への応用—PST ガイドの実際—	高平 高伸	p.264					
7	ZedHip を用いた大腿骨骨切ガイドの試み—汎用性を重視した人工股関節全置換術の術中支援を目指して—	伊藤 知之	p.265	9	N	1, 11	017	
	術前計画ソフトと連携ジグを用いた側臥位 THA—いかに簡便にカップ設置精度を上げるか—	岩切健太郎	p.265					

単位項目内容

- (S) スポーツ単位
(R) リウマチ単位
(SS) 脊椎脊髄病単位
(Re) 運動器リハビリテーション単位
- 1 整形外科基礎科学
 - 2 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
 - 3 小児整形外科疾患（先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く）
 - 4 代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）
 - 5 骨・軟部腫瘍
 - 6 リウマチ性疾患、感染症
 - 7 脊椎・脊髄疾患
 - 8 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）
 - 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
 - 10 手関節・手疾患（外傷を含む）
 - 11 骨盤・股関節疾患
 - 12 膝・足関節・足疾患
 - 13 リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）
 - 14-1 医療安全
 - 14-2 感染対策
 - 14-3 医療倫理
 - 14-4 指導医講習会、保険医療講習会、臨床研究／臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済（医療保健など）に関する講習会、地域医療／医療福祉制度に関する講習会、専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会（医師患者間のコミュニケーションに関する講演や専門領域以外の科学的もしくは文化的な講演などを含む）など
 - 14-5 医学全般にわたる講演会などで、14-1～14-4に当てはまらないもの